

2022年4月26日

本多通信工業株式会社

取締役会の実効性評価

当社は「常に最適なコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組む」とした基本方針に則り、「取締役会の実効性」を自己評価しました。把握できた課題の改善により、引き続き、取締役会の意思決定機能及び監督機能の向上を図ってまいります。

1. 評価の方法

- ① 社外役員を中心とした意見交換会にて、評価項目を協議し、取締役会の賛同を得て、全取締役・全監査役を対象にアンケートを実施しました。
- ② アンケートは、“取締役会は意思決定機関として役割・責務を実効的に果たしているか”等の設問に対し、求められる水準に照らして、“十分、満足”から“不足”までの5レベルで評価し、その判断理由を記す内容です。
- ③ 取締役会にて、本アンケートの集計結果に基づいて、当社の取締役会の実効性を自己点検するとともに、課題を抽出し、今後の取組みを明確化しました。

2. 評価結果

- ① 付議される議案内容や提供される情報、審議時間は適切であることが確認され、事業範囲、規模等に照らして、相応の実効性が確保されていると評価しました。
- ② 社外役員から幅広い視点での多様な意見が出されることにより、議論が活性化されています。
- ③ 従前に比して中長期の課題やサステナビリティの取組みに関する理解および議論が促進されましたが、環境が激しく変化する中で喫緊の課題への議論が増加し、十分と評価されるには至りませんでした。

3. 今後の取組み

地政学的リスクの高まりや脱炭素社会の進展など、変化の激しい時代における当社の事業体制の在り方に加え、創業100周年に向けた経営課題やサステナビリティについて、より一層議論を深めてまいります。

以上